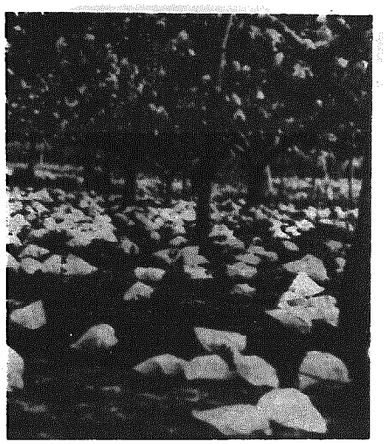
台風15号吹き荒れる……

農作物に再び被害

関東地方に上陸し、東北地方を縦断した台風15号は、二十三日県下各地に大きなツメ跡を残して、北海道日本海上へ抜けていきました。

本村も、台風15号の影響で、二十三日午前六時ころから激しい暴風雨が吹き荒れ、農作物や樹木に大きな被害がありました。



強風で特産の二十世紀が一面に落下
二本木地区

木津、二本木地区のナシなどの果樹園（約40 ha）は、強風で特産の二十世紀や新興の白い果袋が一面に落下していました。

役場経済課の調べによると、四十％が落下、被害額は約一億円にのぼるとのこと。

果樹農家は九月初旬から出荷を目前にしていただけに深刻な痛手をこうむり、毎年の被害に頭を抱えていました。

また、畑作物は村全域に被害をうけました。

特産のながいもは6・22水害で冠水や流出で大打撃を受けたのに続いて今回は、強風により支柱が倒れ、茎が切断されるなどの被害でダブルショック。

被害額は一億三千万円にもの ぼり収穫できるかどうか危ぶまれています。

このほか台風15号の影響で人身事故は幸いにしてなかったものの、民家や倉庫などの屋根のトタンがはがれたり、老木の倒伏があちこちでみられました。

なかでも、小杉八幡宮神社の樹令約四百年の大杉が倒れたり、小杉松韻寺の老松「袈裟掛けの松」（樹令約七百年）の幹がパックリ二つに割れるなど、村内の名木・大木も被害がありました。

沢海では大欅が倒れ塀・側清も大被害

青色申告にしてみませんか

～有利な特典がいっぱい～

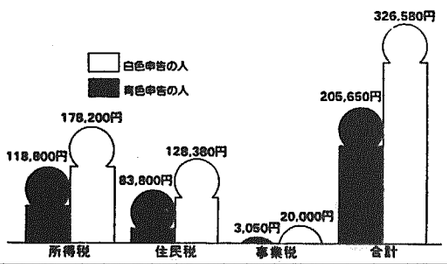
「帳簿がつけられないから」とか、「うちは青色申告にするほど規模が大きくないから」という声を耳にしますが青色申告はそれほど難しいものではありません。

帳簿は現金出納帳を中心とした簡単なものです。奥さんの家計簿と同様に毎日記帳する習慣をつけられて、多くの〝青色の特典〟を活用してみませんか。

青色申告制度を利用すると税金面（別掲参照）で有利になるというだけでなく、帳簿をつけることによって、在庫などの状況がよく分り、経営の合理化にも役立ちます。

青色申告の手続や帳簿のつけ方でわからないことは、税務署・税務相談室におたずねください。なお、記帳指導は商工会、税理士会でも行なっています。

青色申告をするとこんなに安くなる税金
（年間所得が300万円の場合、合計で120,930円安くなる）



年間所得三百万円で平均的なお店の場合

●妻がもっぱら事業に従事して、毎月5万円の給料と年2か月のボーナスを支給	700,000円
●年末の商品たな卸高	1,000,000円
●年末の売掛金残高	500,000円
●扶養親族	子供2人
●社会保険料支払額	146,000円
●生命保険料支払額	100,000円
●損害保険料支払額（短期）	4,000円

※青色申告の人は、みなし法人課税を選択しないものとして計算しました。

おしらせ

NHK青年の主張 新潟県大会 原稿募集

◎ことしの課題
。いま学園（職場）から訴える
。わたしの挑戦
。ひとつの出合い
。同世代への提言
。国際社会と青年

◎参加資格
新潟県に居住、昭和三十一年一月十六日から昭和四十一年四月一日までに生まれたもの。

◎締切
十月二十三日当日消印有効

◎応募方法
課題から一つ選び、五分以内で発表を終える原稿（一、六〇〇字程度）

◎送り先
新潟市弁天一、NHK新潟放送局青年の主張係

県立新潟図書館 日曜開館

県民の強い要望にこたえて県立新潟図書館では六月から日曜開館を行なっています。ご利用ください。

◎開館日　第二及び第四日曜日（該当日曜日が祝日にあたるときは休館）

◎開館時間　午前九時～午後五時

村民野球大会

二本木クラブ初優勝

延長戦で強豪農協を破る

昭和五十六年度村民野球大会は、七月十九日から毎週日曜日に大会史上最多の四十一チームで、炎天下のもと熱戦がくりひげられてきました。

大会三日目の八月二日、横越小学校グランドで準決勝と決勝が行なわれ、二本木クラブが六月早起き野球大会に優勝した横越農協をくだして優勝し、真紅の大優勝旗を手にしました。

決勝戦に勝ち進んだ二本木クラブと横越農協は、先きの早起き野球大会の準決勝で熱戦がくりひろげられたため、この決勝戦でも接戦が予想されました。

先攻の横越農協は、初回タイムリーヒットが続き2点を先取。二回にも1点を加え、さい先きのよいスタートをきりましたが、二本木クラブも初回に1点、二回に1点、四回には、仲村選手のホームランで同点においつき、予想どおり接戦となりました。

それ以降、両チームは、再三ランナーを出すもののスクイズバンドの失敗や投手のけん制球、外野からのバックホーム好返球で得点できず、延長戦にもち込まれました。

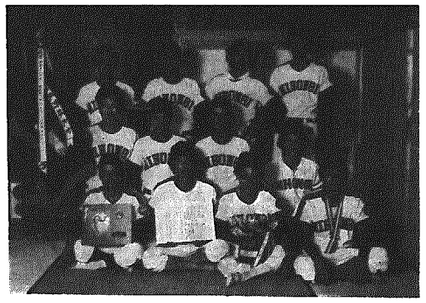
延長九回裏、二本木クラブは、ツーアウト、ランナー二・三塁の絶好のサヨナラチャンス。

打球は、平凡なセカンドゴロであったが、農協二塁手の前進守備の頭上を越して、4対3でサヨナラ勝ちをし、初優勝を飾りました。

今大会の最優秀選手に、二本木クラブのエース井越鉄雄選手、優秀選手に同クラブの原邦夫選手、敢斗賞に横越農協の藤田力男選手が選ばれました。

結果は次のとおり

優　勝　二本木クラブ
準優勝　横越農協
三　位　パンサーズ
三　位　沢海好球クラブ



初優勝した二本木クラブ

早起き野球は農協二連覇

五月三十一日から出場31チームで行われてきた第七回早起き野球大会は、三月二十八日横越小学校グランドで小杉友和と横越農協の間で決勝戦が行なわれ、横越農協は、連投の友和投手の疲れとエラーに乗じて大量11点、一方友和はヒット数では、横越農協を上廻ったものの、ここ一番の好機に一本がでず苦しい戦い。

結果は横越農協が、六回11対1のコールドゲームで友和を圧勝大会初の二連覇をしました。

優　勝　横越農協
準優勝　小杉友和
三　位　沢海好球クラブ
三　位　二本木クラブ

横丁話

長寿国として世界で名を上げている我国であるが、近年お年寄りが幼ない子供の子守りを引き受けている家庭が少くない様に見受けられる。

〝年寄りっ子は三文安す〟などと、誠にもってけしからん言葉があるが、本当に年寄りっ子は、若い人の現代的育児に劣るのだろうか。零才児教育、早期能力開発、などとは縁のなさそうなお年寄りの子供の子守りに歯がゆい思いをしておられる母親も中にはおられるだろうが、その若いママさん達に一言「そりやお宅のお年寄りはオルガンの指の動かし方や、アルファベットを教えてはくれないでしょう。でも、そう云う事よりも、もっと大切な事をチャンと教えて下さっていますよ。」キチンと挨拶をする事。他人に迷惑をかけない事。道端の草花のきれいな事。いたずらに小動物を殺したり、いじめたりしない事など。まだまだ沢山教えて下さっています。中には現代にマッチしない古めかしい事を主張する時もないではないが、しかし、その様な考え方は長年のいろいろな経験をもとにして出て来る言葉で、必ずしも正しくない意見であっても耳を傾ける価値は十分あると思う。

子どものしつけは円満な暖かい家庭から

三ツ子の魂百までもと云います。これは、乳幼児期が人間形成の重要な時期である事を唱えた言葉であるが、この言葉は、三ツ子の魂であって三ツ子の知識ではない事を考えて見ていただきたい。多少の育児観のズレには余り神経をとがらさずに、「おばあちやんお願いします。」「おや、そうかい。」と云う円満な家庭の暖かい空気を幼い子供達は肌で感じて育っていくのだと思う。

最近、青少年の非行年令が低年令化し、犯罪内容も大人同様になっていると聞く時に、どんどん大きくなるこの社会問題を防ぐ為にも家庭内のなごやかな空気が必要である。そして、このなごやかな空気はお年寄りを尊び、敬い、感謝し、いたわる心から生まれるのではないだろうか。

（山崎）

人権標語募集

村は、今年度「人権モデル村」として人権思想の普及や人権問題の解決に当っています。人権というものが更に理解され、明るく健康な社会を築くため、次により人権に関する標語を募集しますので、多数の応募をお待ちしています。

◎募集期間
九月二十日から十一月三十日まで

◎応募資格
横越村に在住するもの

◎応募方法
。はがき、または便箋等を用い一人何編でも結構です。
。応募者の住所・氏名を明記。送り（提出）先
横越村役場住民課

◎内容
自由・人権の思想を広め人権をどのようにして守ったらよいか、など人権に関するものに限る

◎表彰
審査された優秀作品十点に県人権擁護連合会長賞を贈呈

第12回 村民大運動会

日時　十月十日（体育の日）
会場　横小グランド（雨天、同体育館）

――地区対抗戦――